

# 蛭ヶ岳山荘

360°  
大パノラマの  
山頂に建つ山荘



自然環境に配慮した、利用しやすい山荘

管理運営 蛭ヶ岳山荘委員会

## “追想” 蛭ヶ岳

白皚々たる熊木沢の奥に厳然と聳ゆる 1,672mの峰こそ、神奈川県最高峰蛭ヶ岳であり、丹沢山塊の盟主の偉容を誇っている。

暖かい南の海で生まれたというその生い立ちは興味をそそる。神奈川県立博物館編・有隣新書「南の島からきた丹沢」に詳述されている。

私が山北町の講演会で聞いた、東海大学付属相模高校の未包鉄郎先生のお話は、「今から1,500万年前、伊豆や丹沢は、南の暖かい海に浮かぶサンゴ礁の発達する火山島として存在していました。島の周囲ではしばしば激しい海底火山活動が起こり、大量の火山灰が海底に積まりました。やがて今から1,000万年前頃から、伊豆や丹沢の島を乗せて“フィリッピンプレート”が移動を開始し、そして今から500万年前頃、とうとう丹沢は日本列島に衝突しました。やがて今から200万年前頃、丹沢の後ろに伊豆が衝突して、丹沢とその周囲の海底を持ち上げ、山脈に作り変えていったのです」と、このようにして出現した丹沢が、長い年月を大自然の偉大なる芸術によって、今日の丹沢を私たちに至上の宝物として贈ってくれたのです。

蛭ヶ岳という山名はどうして付けられたのでしょうか。『かながわ・山紀行・植木知司著・かもめ文庫』はこう語っている。山頂に薬師如来を祀っていたので別名薬師岳ともいう。坂本光雄氏は『丹沢の山と溪谷』で「獵師が使った山頭巾を昔から“ヒル”と呼んで、山での仕事はもちろん、物々交換で米などの穀物を計るのにも使い獵師にとっては欠くことのできないものであった。この山頭巾の形が、蛭ヶ岳の山容によく似ていたため、この名が付けられたのであろう」と記している。



また、『山の神の民族と信仰・丹沢 桂川 足柄・佐藤芝明著・中央公論事業出版』によれば、丹沢木地師の足跡を訪ねての中で、「蛭ヶ岳の名は、『蛭谷』から来ているように思えるのである。滋賀県永源寺町の『蛭谷』は木地師の聖地であり、西から関東に進出した木地師達は山容が鈴鹿山系に、標高も似ていることから『ヒル岳』と名付けたのかも知れない」と述べている。私がこの蛭ヶ岳を初めて訪れたのは昭和14年の秋であった。相模野会の古い会報とアルバムを開いて見た。昭和14年11月号「どんぐり」の報告はこうだ。「月夜の行軍で満員の札掛の山の

家に到着翌10月1日は午前4時に出発、一路塔ヶ岳へ…塔ヶ岳で朝食を済ませてから、山小屋建設の勤勞奉仕が始まり約一時間即製人夫となって愉快地働き、次の丹沢山へ、山頂の櫓で記念写真そして蛭ヶ岳で昼食、昨夜の睡眠不足を補い、姫次目指し、水場の冷たい水でのどをうるほし、それから鳥屋までノンストップ」とあり、最初の蛭ヶ岳の思い出は頂上での午睡であったとは…。

昭和36年に山荘が建設され、毎年お正月は尊仏山荘・蛭ヶ岳山荘・原小屋山荘・道志温泉・山中湖の至誠荘が我が家のお正月定期コースであった。

蛭ヶ岳山荘を守ってくれた人々の笑顔が走馬燈のように浮かんでくる。山荘建設の立役者「青根の石工佐藤三三九さん」、私も水場探しにも苦労したが、よいところはみつからなかった。

母鹿が野犬にやられて、残された小鹿を育てたNさん、チビと名を付けて可愛がった。大きくなってチビと呼ぶとこっちを向いた。そのチビももう余命を終わった。TVKに出演した堂々たるボス鹿もとうに姿が見えず、すべての追憶の彼方へと消えていった。

しかし、頂上からの絶景は朝に夕に私を離さない。洋々たる相模灘から朝がやってくる。怒涛のごとき雲海にぽっかり浮かぶ檜洞丸、その上に悠久の富士山が紅に燃ゆる。落陽もそれに増して大自然の神秘さを感じみと味わせてくれる。冬の霧氷、白銀に輝く南アルプス連峰、やがては宮ヶ瀬湖が虹の大橋を映してキラキラと輝くことであろう。

30年来の長い間私たちが暖かく迎えてくれた山荘が再建された。数々の思い出のある山荘の再建はうれしい。“だが”笹が枯れ、ブナが倒れ、花が盗まれ、鹿が悲鳴をあげて餓死をしている。これでいいのだろうか。山は私たちの豊かな生活の犠牲者なのだ。宮ヶ瀬湖の一滴は、“蛭ヶ岳”の涙ではないだ



ろうか。暖かい山荘建設と共に100年計画でもいい、あの頂きにブナの森を贈ってあげられないだろうか。

文：横浜山岳会委員  
奥野幸道さんから頂きました。  
写真：蛭ヶ岳山荘管理人 木全広幸

# ●●●蛭ヶ岳への登山コース●●●

蛭ヶ岳山頂へは、多くのコースがありますが、そのなかから主なコースを選びました。登山口から山頂までいずれも1,000m以上の標高差があり、長時間の歩行を要する、健脚向きまたは1泊2日のコースとなっています。

- 1. 塔ヶ岳経由のコース(登山図2参照)**  
—秦野盆地・相模灘の眺めのよい丹沢の代表的コース—  
(1) 表尾根経由  
★秦野駅(バス47分)ヤビツ峠(20分)富士見橋(1時間)二ノ塔(10分)三ノ塔(25分)鳥尾山(25分)行者岳(40分)新大日(40分)塔ヶ岳(1時間)丹沢山(45分)棚沢ノ頭(35分)蛭ヶ岳  
(2) 大倉尾根経由  
★渋沢駅(バス11分)大倉(1時間30分)堀山(10分)小草平(一時間)金冷し(20分)塔ヶ岳(1時間)丹沢山(45分)棚沢ノ頭(35分)蛭ヶ岳
- 2. 東海自然歩道経由のコース(登山図2参照)**  
—距離は長いものの、なだらかなコース—  
★橋本駅(バス52分)焼山登山口(2時間)焼山(50分)黍穀山水場(55分)姫次(1時間25分)蛭ヶ岳
- 3. 西丹沢経由のコース(登山図1参照)**  
—シロヤシオツツジ、ブナ、ヒメシャラ等が美しい  
丹沢主稜を経る登高差があるハードなコース—  
★新松田駅(バス1時間10分)西丹沢(45分)ゴウラ沢出合(2時間)檜洞丸(1時間25分)臼ヶ岳(1時間15分)蛭ヶ岳
- 4. ユーシン経由のコース**  
—変化に富んだ玄倉溪谷と眺望のよい  
丹沢主脈を経る少々ハードなコース—  
★新松田駅(バス44分)玄倉(2時間50分)ユーシンロッジ(35分)熊木沢出合(2時間10分)棚沢ノ頭(35分)蛭ヶ岳
- 5. 堂平経由のコース**  
—神奈川の美林のひとつ、堂平のブナ林をはじめ  
樹林の美しいコース—  
★本厚木駅(バス45分)宮ヶ瀬(2時間)塩水橋(1時間30分)堂平(55分)天王寺尾根(40分)丹沢山(45分)棚沢ノ頭(35分)蛭ヶ岳

蛭ヶ岳山荘は、昭和30年に神奈川県で開催された第10回国体の登山競技が丹沢山塊で開催されたことを契機とする登山ブームに対処し、安全登山と登山スポーツの振興の拠点として、神奈川県内最高峰の蛭ヶ岳山頂に神奈川県立の山荘として、昭和36年に建設されました。

丹沢塊の中心に位置し、遭難者の捜査・救助や登山道の警備等極めて重要な使命を担う山小屋として多くの方に利用されてきましたが、老朽化が著しく安全性を欠く恐れも生じてきたため、全面改装を行うことを決定し、自然環境に配慮した利用しやすい山荘として、二代目の蛭ヶ岳山荘が平成9年11月に、多くのご支援をいただくなかでオープンしました。

## 《特徴》

丹沢大山国定公園の特別保護地区に位置することから特に自然環境に配慮しました。

トイレ:簡易水洗トイレ…3  
非水洗トイレ…1  
(使用済紙は分別処理)

し尿処理:自然の力を利用した浄化槽処理

## ソーラー発電

また、宿舎予約や登山コースの確認等にご利用いただくために、どこからでも通話できる衛星電話を設置し、常時有人の山小屋として登山者の安全に配慮しました。

## ●設置者

※蛭ヶ岳山荘は平成21年4月1日より財団法人 神奈川県体育協会からNPO 北丹沢山岳センターへ移管されました。

## 《施設概要》

所在地 相模原市緑区鳥屋地内  
蛭ヶ岳山頂(標高 1,672m)  
構造・規模 木造平屋建て  
建築面積 161.47 m<sup>2</sup>  
宿泊定員 41名

(寝具は、80人程度宿泊対応できる用意がしてあります。)

## ■利用料金

宿泊料金	一泊素泊	5,000円
	一泊一食付	6,000円
	一泊二食付	7,000円
休憩料金(トイレ使用ができます)		200円
※その他、飲物やお土産等を各種販売しています。		

## 《連絡先》

- 1) 蛭ヶ岳山荘(現地)**  
衛星電話 090-2252-3203
- 2) 蛭ヶ岳山荘委員会**  
相模原市緑区小淵 1545-1  
代表者: 杉本 憲昭  
TEL 042-687-4011 Fax 042-687-3980

※蛭ヶ岳山荘(現地)並びに蛭ヶ岳山荘委員会のどちらでも、宿泊の予約や登山コースの問い合わせなどご利用出来ます。

